

交野市南部地域の水資源と地質をたずねて 【2008年11月16日(日)現地見学会報告】

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境N E T

専務理事 戴 忠希

当方は午前中雨のため、キャンセルする人もありましたが、午後には雨も上がり、無事予定通りの行程で現地見学会は終了しました。

参加者はJR片町線 星田駅前に午前9時30分に集合し、9時45分に出発となりました。約7Kmの歴史的な道のりを楽しく散策できました。今回もお子さん連れで参加された人もおられ非常に楽しい小旅行ができました。

今回の現地見学会の案内役は、当N P Oの理事である大阪市立大学理学部の三田村宗樹准教授です。地下水と地質との関係を伺いながら、交野市南部地域の水資源について勉強できました。

最終地点は、酒造酒半です。ここでは皆さんお土産として日本酒を購入され本日の晩酌の準備が完了し帰宅となりました。

今回の現地見学会の行程は以下の通りです。

星田駅前 9:45 - 東高野街道 - 山根街道跡 - 10:15 強地(コチ)の湧水(STOP 1)10:45 - 11:00 星の森遺跡(STOP 2)11:15 - 11:30 風化花崗岩と災害井戸(STOP3)11:45 - 12:00 大阪層群の海成粘土層(STOP 4)12:20 灌漑井戸(STOP 5) - 12:40 星田妙見宮(STOP 6)
13:30 - 14:00 交野断層崖(STOP 7) - 14:15 大阪府最古の砂防堰堤・加賀田用水取水口(STOP 8)14:45 - 15:00 交野市水道水源井 No.9(STOP 9) 15:15 - 15:40 酒造酒半(STOP10)16:20 - 河内岩船駅前解散 16:30



[東高野街道]

東高野街道の古い町並みを昔をしのびながら歩きました。所々に常夜灯があり、趣のある通りです。



[山根街道跡]

山根街道跡をハイキングです。雨が降っていたので少し道がぬかるんでいましたが怪我人もなく一安心です。



[強地(コチ)の湧水]

大阪層群の丘陵湧水地です。

当日は雨が降っていたので比較的水量が多かったみたいです。

飲料水としては不適なようです。



[星の森遺跡]

弘法大使大師伝説の「七曜の星」(北斗七星)が降り、星田の三箇所(星の森・妙見山・光林寺)三箇所に落ちたとされ、それぞれの距離が八丁あることから八丁三所(ハッショウ ミコロ)と呼ばれています。遺跡として残された敷地内には星の降った跡地とされる箇所に塚が築かれていました。



[災害井戸]

南星台の住宅地には災害用の井戸が設置されており、町ぐるみで生活環境の改善に取り組んでいます。

当日は偶然当地区の区長さんとお会いできいろいろとお話を聞きました。



[露頭観察]

大阪層群の海成粘土層の露頭です。

約30度近く傾斜しています。



[灌漑井戸]

交野市の灌漑水利組合の所有する灌漑井戸の小屋です。交野市には灌漑用の井戸が各所に存在します。その多くは掘削深度 200m 程度までということです。



[星田妙見宮]

八丁三所のひとつである星田妙見宮。



[星田妙見宮の御神体]

100段以上の階段を登ると花崗岩の風化核が御神体として祭られている。



[大阪府最古の砂防堰堤・加賀田用水取水口]

江戸期を起源とする灌漑用水施設と大阪府下で最も古いとされる石積み砂防堰堤。扇状地に位置する星田の地名由来は「干田」とされ、表流水に恵まれなかつたため、扇頂部で取水し、下流域へ配水する用水施設が造られてきた。加賀田用水はそのひとつです。



[用水路に生息するカワニナ]

周辺にはホタルが生息しているとのこと。ホタルを殖やすには、そのえさとなるカワニナがよく育ち、稚貝がたくさん生まれるように、河川をきれいにし、川にゴミを捨てないなどの条件整備に力を注ぐことが大切です。河川や周りの森を含めた自然環境が整備されると、ホタルは自然に殖えて飛ぶようになります。



[交野市水道水源井]

交野市の上水道は、府営水40%、井戸水60%で構成されている。取水深度は200~300mである。

地下水を大切にする土地柄です。



[酒造酒半での記念撮影]

酒造りにはきれいなお水が必要です。

酒造りの工程を学びました。現在は近代的な手法を用いて造られています。

皆さんご苦労様でした。